Oishii MOGAMI
Agriculture and living information magazine
そだてる、たべる、かんじる

令和5年度　JAおいしいもがみスローガン
「信頼と絆」魅力ある農業で未来へ繋ぐ

No.67 October 2023 | 10

おいしいもがみ

目次

02.優秀農家組合員の紹介
　第1回JAおいしいもがみ組合員親善ゴルフコンペ
03.第3回青果物トップセールス
　年金友の会グラウンドゴルフ大会
04.地域の話題★情報発信／野菜レシピ
07.上期支部座談会（ご意見・ご要望）
08.スマイルサポーターカウンターセールスコンテスト
　新規就農者紹介
09.各部よりお知らせ etc

『あすラジ』FM89.6MHz
月～金：10時15分～
JAおいしいもがみのお知らせ
放送中!!ぜひ聴いてください!!

もがみ中央農業協同組合

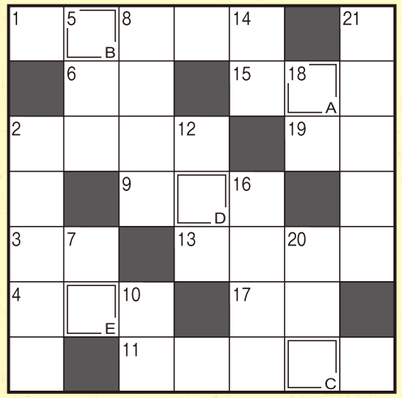
プレゼントクロスワード

Present Crossword

キーワードを完成させてプレゼントに応募してね

正解者の中から抽選で2名様にJAおいしいもがみの特産品をプレゼント!

回答欄 ＿A ＿B ＿C ＿D ＿E



ヨコのカギ

1　甘柿の王様と呼ばれることもあります
2　屋内のこと。＿＿派
3　ボンレス＿＿、＿＿サンド
4　漢字では石榴、柘榴などと書く果物
6　たき火に手をかざして取ります
9　飲んで食べて話して楽しみます
11　山野で生まれ育ったヤマノイモ
13　奇術師が披露するもの
15　ベンチよりふかふかしています
17　富士山の山頂を白くします
19　漬物やワインを詰めます

タテのカギ

2　日光の紅葉の名所。48個のカーブがあります
5　＿＿大敵、運転中は気を引き締めて
7　白＿＿に身を包んだ花嫁さん
8　ジョギングや水泳、筋トレなどはこの一種
10　ハウスを使わず作物を育てる＿＿栽培
12　考えるときにひねるもの
14　応用に移る前にしっかりと
16　1カ月の後ろ3分の1
18　ペンのはキャップと呼ぶこともあります
20　東京都中央区の地名。豊洲へ移転した東京都中央卸売市場があった場所
21　2人でおそろいの服を着ます

【9月号答え】カラスウリ
★当選者　大蔵村 須藤 唯さん・戸沢村 早坂 美香さん

【応募方法】官製ハガキに①キーワード、②今月号で良かった記事、③ご意見・ご要望、④住所、氏名、年齢、電話番号を記入して下記宛先まで郵送いただくか、QRコードからご応募ください。
【宛　　先】〒996-0053　新庄市大字福田字福田山711番地73　JAおいしいもがみ広報クイズ係
【応募締切】10月31日(火)当日消印有効　　※お送りいただいた個人情報は当誌の編集以外には使用しません。
応募QRコード

青年部紹介

真室川支部〈部員数〉9人

支部長　新田 隼
副支部長　佐藤 大祐
監査　西村 伸之
会計　佐藤 大祐

新田隼支部長

【主な活動】
真室川営農センターJAまつり参加など

街の気になるお店 レストラン colina（コリィナ）

食通Tの食レポ
웃으면 복이 와요（ウスミョン ボギ ワヨ）

ハーフ&ハーフ（ミニ牛カルビ丼とミニ戸沢流冷麺）980円（税込）

今日は給料日（焼肉牛カルビ）1,380円（税込）

★住所　戸沢村蔵岡黒淵3008-1　高麗館
★営業時間　AM11:00～15:00（ラストオーダー14:30）
★営業日　金・土・日・月・祝日　★Tel.0233-72-3303

編集後記

「ワンチーム（OneTeam）」4年前ラグビーワールドカップで見事ベスト8入りを果たしたラグビー日本代表が掲げたスローガンで、その年の流行語大賞にも選ばれました。4年の歳月が流れ、今フランスの地において再び激戦が繰り広げられています。チームが一丸となり厳しい練習を重ね、目標達成に向け戦っている姿に胸を打たれます。

日本のラグビー精神論の中で「ワンフォアオール・オールフォアワン」という言葉があります。解釈は様々ありますが、ラグビーの精神を体現する言葉として幅広く認識されています。

同じ言葉ではありますが、私たちJA関係者では「一人は万人のために、万人は一人のために」と訳され、協同組合の理念を体現している言葉として理解をしています。ドイツで生まれ、協同組合の祖といわれるライファイゼンが説いてやまなかった言葉で、一人一人の力は小さいが、共に助け合う心や相互扶助といった協同の精神を表現しているものです。

農業、農協を取り巻く環境は益々厳しいものがありますが、われわれも今こそ「ワンチーム」となり互いの力を結集し、大きなスクラム組んでこの難局を乗り切っていきましょう。

（編集長）

おいしいもがみ Oishii MOGAMI
広報委員●編集長:川田昭一／木田学／斎藤義和／笹木透／日渡和則／佐藤一也／押切颯斗／長澤麻衣子／矢口圭介／齋藤優希／鬼海康裕／佐藤暢祥／副編集長:高橋浩太
編集・発行●もがみ中央農業協同組合　令和5年10月発行
〒996-0053　山形県新庄市大字福田字福田山711番地73　TEL.0233-32-1511/FAX.0233-32-1510

優秀農家組合員ご紹介

第6回通常総代会で表彰された優秀農家組合員の紹介です。

今月は南部営農センター管内の木村和則さんです。

木村さんは主食用米7・2ヘクタール、飼料用米1・5ヘクタール、にら70アールを栽培しています。会社員を経て、就農してから11年目になります。家族4人（本人、妻、母、息子）で作業しており、繁忙期には地域の方を雇用し、農業を営んでおります。「息子もこのまま自分の後を継いでくれるといいんだけど」と笑いながら話してくれました。

また、木村さんは地元の消防団やJAの青年部などにも加入しており、地域にも貢献しております。

《優秀農家表彰を受けて》

大変光栄です!!ありがとうございました。

組合員と親善

第1回JAおいしいもがみ組合員親善ゴルフコンペ

始球式をする押切組合長

ナイスパット

優勝した佐藤さん（舟形町）

プレーを楽しむ参加者

9月7日、晴天のもと、新庄市にある「新庄アーデンゴルフ倶楽部山形ゴルフ場」で第1回組合員ゴルフコンペを開催し、管内の組合員やJAグループ、取引先業者など約100人が参加しました。

押切安雄組合長は「組合員の皆さまの健康促進と親睦を図っていきたいと思います。楽しんで、ケガなくプレーしてください」とあいさつしました。

舟形町の佐藤行雄さんが初代優勝者に輝きました。2位は斉藤幹夫さん（真室川町）、3位は加藤勝義さん（舟形町）が受賞しました。

ねぎ・菌茸PR

第3回青果物トップセールス

トップセールスに参加した市場関係者

トップセールスを行った参加者

ねぎと菌茸の展示

9月20日、神奈川県の横浜丸中青果を押切安雄組合長と舟形町の森富広町長、鮭川村の元木洋介村長、JA全農山形、JA職員など10人が訪問し、ねぎと菌茸のトップセールスを行いました。その後、菌茸の主要取引市場である東京シティを訪問し、市場や流通情勢などの意見を交換しました。

ねぎと菌茸の展示の他、試供品を配り、市場関係者が出来栄えを確認しました。

今年度の販売額は、ねぎ5億4千万円、菌茸14億3千万円を目指します。また、今年度最後となるトップセールスは、来年の2月を予定しております。

会員の健康増進と親睦

年金友の会グラウンドゴルフ大会

ナイスショット

プレーを楽しむ参加者

入賞した参加者

9月12日、真室川町総合運動公園グラウンドゴルフ場で年金友の会グラウンドゴルフ大会が開催され、管内から54人の会員が参加しました。

ホールインワンを3つ獲得した舟形町の庄司大助さんが優勝しました。2位は石塚俊一さん（戸沢村）、3位が堀米とみ子さん（戸沢村）が受賞しました。

89歳の最高齢の会員の参加やホールインワン賞を15人が獲得するなど、大いに盛り上がりをみせた大会となりました。

地域の話題★情報発信
おいしいもがみのNEWS

舟形町 第40回ふながた若鮎まつり

9月9･10日、アユパークを会場に「第40回ふながた若鮎まつり」が4年ぶりに通常開催されました。9日は約8,000人、10日には、約14,000人の来場があり、大いに盛り上がりました。

約20,000尾の鮎の塩焼きをはじめ、鮎ご飯や芋煮などの美味しいものが勢ぞろいし、来場者をもてなしました。残暑が厳しいなかでしたが、笑顔のあふれる「まつり」になりました。

《舟形支店　押切颯斗》

新庄市 音楽と農業の融合 Groove Sync Summit

9月23日、金沢地区の夢の語らい広場で、最上地区出身のHIPHOPユニット「ALPHA　PUPS」と昭和地区で農業を営む鈴木商店が共催し、LIVE&芋煮会が開催されました。

普段あまり農業に関心のない世代にも、音楽を通して地元産の農作物のおいしさを知ってもらい、農業に興味を持ってもらいたいとの想いから、今回のイベントを企画したとのことです。

集まった人たちは、地元の若手農家たちが持ち寄った野菜で作った芋煮とピザに舌鼓を打ちつつ、音楽に耳を傾けるという至福の時間を過ごしていました。

《はぎの支店　佐藤一也》

大蔵村 大蔵小学校　学校給食

9月5日、大蔵小学校に大蔵村の特産品トマトを提供しました。小学校3年生が総合学習で大蔵の特産品であるトマトを学んでおり、定植から収穫まで行いました。収穫したトマトは給食の献立に取り入れて、全校生徒に振舞い、おいしそうに食べていました。

また、関東にて特産品トマトを販売されているお店にて、3年生が作成したポスターが店内に掲載されており、好評をいただいております。

《大蔵営農センター　鬼海康裕》

最上町 秋まつり

9月になり、最上町では最上まつり（向町）・大堀まつり・富沢まつりが順次開催されました。

写真は、最上まつりでの神輿の行列です。コロナ感染の影響も少なくなり、4年ぶりに盛大に行われました。9月になっても、連日の猛暑が続き、汗だくで神輿を担ぐ子供たちがまつりを熱気でさらに盛り上げていました。

《最上支店　長澤麻衣子》

地域の話題★情報発信
おいしいもがみのNEWS

鮭川村 最上地域森の感謝祭2023

9月2日、鮭川村エコパークを会場に、最上地域森の感謝祭2023と最上地域緑の少年団交流研修会が共催されました。

「～守り続けよう私たちの森（シン）ボル～」をテーマに、当日は最上管内の緑の少年団をはじめ、林業に関わる方々が約200人来場しました。式典では、最上地域の森林業に多大な功績のあった方々への表彰が行われました。森づくり活動では、桜への施肥や木質チップ敷き、原木しいたけの植菌体験、木工クラフトマイ箸づくり、草木染め体験などのプログラムを緑の少年団員が体験し、森林や林業について思いを馳せる一日となりました。

《鮭川営農センター　佐藤暢祥》

戸沢村 道の駅とざわ 高麗館ランタンナイト

アジアンなランタンに彩られた美しいスポットが出現!夕方16時にはランタンに明かりがともり、高麗館の回廊がさらに幻想的な空間に。

9月17日の点灯初日は、キッズダンスなど様々なイベントが行われました。秋の夜ちょっと覗いてはいかがでしょう!

●9月17日から11月30日（入場無料）
●点灯時間／平日 16時～18時　休日 16時～19時
●山形県最上郡戸沢村蔵岡字黒渕3008－1

《戸沢支店　矢口圭介》

Recipe おいしい野菜レシピ 雁喰いのボロネーゼ

※写真はイメージです。

材料（2人前）

パスタ ……160g
豚ひき肉 ……100g
雁喰い（煮た状態）……120g
玉ねぎ ……1/2個
ニンジン ……20g
トマトホール缶 ……1缶
オリーブオイル ‥20cc×2回
塩・コショウ ……少々

作り方

①お湯を沸かす（大きめの鍋に2Lくらい・塩10gくらい）
②雁喰い、ニンジン、玉ねぎをみじん切りにする
③フライパンでひき肉を炒め、一度皿に取る
④玉ねぎ、ニンジンを炒め、しんなりしてきたら豆とひき肉を合わせる
⑤トマトホールを入れ、ヘラなどでつぶしながら合わせ、10分程弱火で煮込む
⑥煮込んでいる間にパスタを茹で、茹で上がったらソースとからめるように合わせ、塩・コショウで味をととのえる
⑦お好みで粉チーズをかけて完成

ポイント 豆の食感をもっと残したい場合、大きめにカット!

参考【雁喰いの煮豆の作り方】❶乾燥豆を一晩水につける ❷一回水を捨てる
❸鍋に豆と水をたっぷり入れ、1時間半くらいを目安に煮る
※アクをすくいながら煮ますが、途中お湯が少なくなってくるので、何度か水を足す。

最上伝承野菜 SNS で最上地域のうまいものや産直の情報を発信しているので、ぜひご覧ください!
（右側の QR コードを読み取ってご覧ください）
〈協力：山形県最上総合支庁農業振興課〉

真室川町 合同林野火災訓練

9月17日、ヘルスケアセンターまむろ川や秋山スキー場を会場に、地震や林野火災を想定した山形県と真室川町の合同林野火災訓練が行われました。

水源となる真室川から秋山スキー場まで高低差54.76m、約2キロにも及ぶ距離を消防ホース約300本を使用し、ゲレンデからの放水訓練や、防災ヘリ「もがみ」も参加して大規模な消火訓練を行いました。

《真室川支店　齋藤優希》

農作業・輸送の安全、有利販売を祈願
令和5年産「山形県産米新米出荷式」

9月21日、天童市の株式会社全農ライフサポート山形で「山形県産米新米出荷式」が開催され、山形県をはじめ東北農政局、県内JA組合長、つや姫レディ、JAグループ山形の関係者など約50人が出席しました。

新米の出荷開始を県内外の消費者に広く告知するとともに、令和5年産米の農作業・輸送の安全、有利販売を祈願しました。

JAグループ山形では高品質で良食味の県産米をお届けできるよう、オール山形で取り組んでまいります。

新米を積んだ大型トラックを見送る参加者

作業の安全と全量集荷に向けて
米倉庫安全祈願祭

真室川安久土米倉庫

令和5年産米の検査が9月11日から始まり、各営農センターの米倉庫で作業の安全と全量集荷に向けた安全祈願祭が開催されました。

今年は、高温多照のため刈取適期は1週間から10日ほど早まりました。集荷目標41万俵全量集荷と併せ、生産者と委託販売契約の数量に基づき、有利販売に向けて取り組んでまいります。

熱心に受講している参加者

栽培・技術力向上
若手アスパラガス研究会研修会

9月6日（最上町）・7日（戸沢村）の2日間の日程で、若手アスパラガス研究会研修会が開催され、若手生産者とJA担当者、関係者など約30人が参加しました。

2日間にわたって栽培ほ場を視察し、栽培ほ場の生産者から栽培概要やこれまでの取り組みについて説明を受け、参加者は熱心に受講していました。

紅花染めを体験したゴールドレディ

生きがいづくりと仲間づくりを図る
ゴールドレディ研修会

9月12日、白鷹町「パレス松風」で研修会が開催され、県内のゴールドレディ層（おおむね65歳以上）の女性部員と事務局など約70人が参加しました。当JAからは渡辺孝子女性部長はじめ11人が出席しました。

上級睡眠健康指導士の大内氏の「快眠術セミナー～意外と知らない上手な眠り～」の講演を聞き、小松織物工房の「紅花染め体験」を行いました。

令和5年度 上期支部座談会

（ご意見・ご要望に対する回答について）

令和5年度上期座談会が9月5日～8日に各地区で開催されました。主なご意見・ご要望及び回答は以下のとおりとなります。

▼【営農】

Q 水田に猪が出没している。子供の猪も見つけていることから、頭数が増している様子。何か対応策を教えてほしい。

A 電柵設置等が有効と考えます。猪の臭いが影響して玄米に臭いがあると検査法上、規格外になってしまう事から、被害があったところと区別をして、刈取り調整をお願いします。具体的には、猪が通過した株下の両サイド2メートルを区分することです。

Q インボイス制度の関係から、くず米の出荷者を青年部員の名前でしているが、今まで通りで出荷していいか？

A 消費税のインボイス対応から、農産物の販売においては農協特例で対応するため、組合員名でくず米・中米も出荷してください。

Q 米の集荷経費（運賃）について、持ち込みも経費が発生するのはなぜか？

A 米の持ち込みに対応する人件費、車両費等の費用高騰や計画検査通りの搬入にならない事によるかかり増し費用の発生等、持ち込み米に対しても、経費がかかっております。ご理解くださるようお願いします。

Q 昨年、当地域において雑草稲が混入した米があったと聞いているが、混入した場合の取り扱いはどのようになるのか。また、当JAの水稲種子採種圃については、どのような取り組みが行われているのか。

A 雑草稲が混入した米の取り扱いについては、農産物検査における玄米検査規格の定めに沿って行っております。水稲種子採種圃については、種子生産組合と関係機関が定期的に圃場審査を行い、異形の稲があれば抜き取りをし、合格した圃場からのみ水稲種子を採種しております。

Q 離農者が増える中、若手新規就農者への補助金・資金・対策等情報を是非繋いでほしい。

A JAでは令和5年度より新規園芸チャレンジ支援事業を新設しました。該当される新規就農者の方には是非ご活用願います。また、各種情報についても周知してまいります。

▼【購買】

Q 今年も肥料の買い置きをした方がいいのか。

A 肥料原料価格は、一部を除き値下げ基調にありますが、年特予約については秋配達が一番有利になりますのでご利用ください。

Q 年特の予約も始まっている。春より秋で取ってと言うが実際の所はどのくらい差が出るのか。

A 年特予約価格の設定については、今後の春までの仕入価格を見越し設定いたしますが、予約注文書にもお示しした通り5％程度の価格差を考えております。

Q 年特注文書今年は遅かった。できれば8月中旬頃までに配布してほしい（8月中の方が稲作農家は時間があるので）大型規格農薬も入れてほしい。

A 今年度の配付については、8月からの価格改定を鑑み遅くなりました。配布時期については品目選定も併せ今後検討してまいります。

Q 肥料の値上がりについて、今後はどうなのか。

A 原料価格は、原料の需給緩和やロシア品の供給が継続したことなどから一部を除き値下げ基調にあります。しかしながら、電気料金、物流費、人件費などのコストが上昇している状況となっております。為替等の諸条件により変動はあるものの価格は下がるものと思料しております。

▼【金融】

Q 当JAのATMの整備について、現在の設置場所にあるものは、そのまま残してほしい。また、青果物の入金時等利用者が集中して混雑するところは台数を増やしてほしい。

A ATMの整備については、利用率や他行ATM設置状況等多角的に内容を見て十分に検討してまいります。

▼【共済】

Q 農業者賠償責任共済で、草刈機で自分の車にぶつけた場合支払い対象となるのか。

A 農業者賠償責任共済は、ご自身の車への損害については保証外となります。

▼【管理】

Q 若手職員の退職者が増えれば、結果的に将来農家にしわ寄せがくるのではないか。退職者の理由として、休暇・給与なども理由の1つではないか。例えば購買資材店舗を繁忙期以外は土日を休みにするなどしてみてはどうか。

A 退職に伴う人員補充を行なっていますが、定員に達しないのが現状です。中途退職が発生しないよう職場風土の改善と働き方満足度向上に取り組んでいます。購買店舗の営業については、営農センターで異なりますが、繁忙期以外（11月～3月）は営業時間の短縮や休業の対応を取っております。

Q 支店・営農センターからのスタンド、農機センターへの電話の取り次ぎ方が丁寧さに欠けており不快に感じる。

A お客様より不快に思われることの無いよう、電話の対応を徹底してまいります。

Q 座談会に組合員が参加しやすいように、開催時間を地区において変更するなど検討して欲しい。

A 支部座談会の持ち方について、組合員の皆様が参加しやすいように、地区別運営委員会等で検討いたします。

▼【子会社】

Q 燃料はもっと安くならないのか。

A いつご来店されても安価で給油できる価格設定を行っています。

Q 繁忙期に農機具修理が集中することから、早急に対応してもらうことが難しくなっている。

A 繁忙期に入る前の事前整備を受付しておりますので、ご利用をお願いします。

※なお、その他多くのご意見・ご要望をいただきましたが、紙面の都合上割愛させていただきます。

セールストークやスキルの共有
スマイルサポーターカウンターセールスコンテスト

9月8日、共済窓口担当者を対象としたスマイルサポーターカウンターセールスコンテストを本店で開催し、各支店より職員7人が出場しました。その結果、真室川支店の柏木吏花さんが最優秀賞に選ばれました。

競技は、窓口での対面による自動車共済の継続を想定して実施しました。加入内容を説明し、グレードアップの提案などを15分程度で行うロールプレーイング形式でスキルを競いました。

最優秀賞の柏木さんは、10月11日に開催される県大会に当JAを代表して出場する予定です。

最上支店 柴崎麻美さん

戸沢支店 矢口圭介さん

はぎの支店 矢口朱里さん

大蔵支店 柿崎由美子さん

最優秀賞
《真室川支店》柏木 吏花 さん（写真中央）

優秀賞
《鮭川支店》阿部 琴美 さん（写真右）
《舟形支店》秋葉 大地 さん（写真左）

新規就農者紹介

〈南部営農センター〉
舟形町舟形
下山（しもやま） 淳（じゅん） さん

下山さんは会社員を経て、今年から専業農家としてトマト栽培に取り組んでおります。10アールのほ場に1800本を定植しました。昨年、トマト部会部会長の伊藤貴之さん（大蔵村）の元で1年間研修を受け、技術と知識を習得しました。

下山さんは「トマトを食べてもらったすべての人に、「おいしい!!」と笑顔になってもらえるトマトを作りたい」と話していただきました。

「なかなかうまくいかないこともあり、そこが農業の魅力の一つだと感じている。今後は、もっと収量が取れるように栽培技術を高めていきたい。また、栽培面積も増やしていきたい」と今後の抱負を語っていただきました。

各部よりお知らせ

共済部

金融部

年金友の会 会員様限定

川柳大会 大募集

期間 2023年 10/2～12/29

昨年、大好評だった川柳大会を今年も開催いたします！
あなたの農業や食に関する、日々の暮らしの中での出来事を川柳にして応募してください！「健康や生きがい」「家族や友人」に絞めたテーマでお待ちしています。

©よりぞう

① いきいき×おいしい 部門
日々の暮らしの中での「健康、生きがい×農業、食」をテーマとした部門
作品例：健康と農業両立 孫のため

② だんらん×おいしい 部門
日々の暮らしの中での「家族、友人×農業、食」をテーマとした部門
作品例：支給日は 家族みんなで 鍋囲む

優秀作品には表彰・記念品の贈呈をいたします。

応募方法 お近くのJA窓口にてお待ちしております。

経済部

令和5年用水稲種子の申込期限は
10月31日(火)となります。
期日までのお申込みをお願いします。

9月末日をもって秋予約肥料の
予約申込は終了しました。
たくさんのお申込み
ありがとうございました。

営農販売部

令和5年産米 集荷進度(9月30日現在)

種類	合計		北部営農センター		南部営農センター	
	契約数量	集荷数量	契約数量	集荷数量	契約数量	集荷数量
うるち米	342,386.5	147,165.0	64,988.5	26,246.0	41,278.5	24,157.0
酒造用米	6,458.0	5,122.5	6,390.0	5,122.5		
もち米	21,366.5	13,924.5	8,951.0	5,842.0	1,205.0	814.0
加工用米	22,255.0	18,250.0	8,449.0	6,377.0	1,903.5	1,454.0
備蓄米	10,409.5	7,925.0	851.5	685.5	281.5	240.0
合計	402,875.5	192,387.0	89,630.0	44,273.0	44,668.5	26,665.0
集荷進捗率(%)		47.8		49.4		59.7

種類	東部営農センター		大蔵営農センター		戸沢営農センター	
	契約数量	集荷数量	契約数量	集荷数量	契約数量	集荷数量
うるち米	17,247.5	17,247.5	27,657.0	14,227.5	45,354.0	23,864.0
酒造用米						
もち米	1,470.0	554.5	1,068.0	679.0	2,233.0	1,710.0
加工用米	139.5	33.0	895.0	722.0	3,911.0	3,341.0
備蓄米	410.5	95.0	1,921.5	1,461.5	1,569.0	1,071.0
合計	58,340.0	17,930.0	31,541.5	17,090.0	53,067.0	29,986.0
集荷進捗率(%)		30.7		54.2		56.5

単位：60kg／俵

種類	鮭川営農センター		真室川営農センター	
	契約数量	集荷数量	契約数量	集荷数量
うるち米	60,554.0	32,071.0	46,234.5	9,352.0
酒造用米			68.0	
もち米	5,036.5	3,913.5	1,403.0	411.5
加工用米	6,052.5	5,921.5	904.5	401.5
備蓄米	4,640.0	4,123.5	735.5	248.5
合計	76,283.0	46,029.5	49,345.5	10,413.5
集荷進捗率(%)		60.3		21.1

支店 営農センター紹介

鮭川支店・営農センター
〒999-5203
鮭川村川口3181
Tel.55-2211（支店）
Tel.55-2216
（営農センター）

広報委員紹介

はぎの支店
佐藤（さとう）一也（かずや） 委員

おいしいもがみNo.62より新たな広報委員のメンバーで編集を行っております。今年度の広報委員を毎月1名ずつ紹介していきます。今月ははぎの支店の佐藤一也委員です。

はぎの支店共済課の佐藤です。共済窓口として、ご契約者の皆様の相談業務を担当しております。萩野、泉田、昭和地区を中心に、地元の人にとっても発見となるような記事をお届けしたいと思っております。

一年間よろしくお願いいたします。

農業先進事例視察

9月22日、JA山形市の大山敏弘組合長とJAやまがたの岡崎輝明組合長、山形市役所、ねぎ生産者など14人が当JAを訪問しました。

視察目的として、山形市では土地利用型作物の導入を検討しており、「ねぎ」を導入し、選果場を核として面積拡大の実績をあげた当産地の先進事例を参考にしようと視察に訪れました。会議室で質疑応答を行い、南部ねぎ選果場を視察しました。

質疑応答を行う参加者

ねぎの選果場を視察する参加者

新庄・最上地区産業安全衛生大会

新庄最上地区産業安全衛生大会が9月15日、新庄市民プラザで開かれ、各事業団体の関係者など約100人が参加し、労働災害撲滅に向けた取り組みの推進について確認しました。

同大会では、各々が職場環境を見直し、事業場とそこで働く全ての労働者が、安全で健康な職場の確保に努めていくことが宣言されました。

また、当組合は、労働衛生の部門で他の模範として認められ、基準協会より推薦を受け「衛生関係優良賞」を受賞しました。

表彰状を受賞する川田専務

理事会報告

第6回理事会は9月26日（火）午前9時より本店で開催されました。

協議事項

第1号議案　令和5年度上期支部座談会意見および回答について（案）
9月5日～8日に開催された令和5年度上期支部座談会意見に対する回答内容について協議されました。

第2号議案　当組合における取引のリスク評価書について（案）
年一回定期的に見直しを行うリスク評価書（マネロン等リスクの評価方針と手法を定め結果を文書化したもの）の内容について協議されました。

第3号議案　戸沢営農センター神田農業倉庫屋根改修、塗装工事について（案）
経年により屋根軒先等の腐食劣化が著しい神田農業倉庫の屋根改修、塗装工事について協議されました。

第4号議案　「産直まんさく」の営業状況と今後の方向性について（案）
「産直まんさく」（舟形町）の現在の営業状況（会員数等）と今後の方向性について協議されました。

第5号議案　令和6年度職員募集について（第3回）（案）
第3回目の令和6年度職員募集の内容について協議されました。

第6号議案　令和5年産米穀共同計算について（案）
令和5年産米穀共同計算の詳細について協議されました。

以上の事項を可決承認いたしました。

10・11月の行事予定

10月14日（土） 県フラワーフェスティバル（すぽーてぃあ最上中央公園内）
20日（金） 秋の農機展示会（本店）
21日（土） 第23回真室川町大収穫祭（真室川中央公民館）
22日（日） 鮭川きのこ王国まつり（鮭の子公園）
26日（木） 理事会（本店）
11月9日（木） 山形最上子牛市場
24日（金） 第6回「うまい米横綱決定戦」（本店）
28日（火） 理事会（本店）

プレゼントクロスワードに応募していただいた皆様の声を紹介します！

★いろいろと旬な最上地域の食材を使った料理などを紹介しているので、参考になります。就農者が少ないなか新規の就農者紹介が新鮮です。（60代女性）

★久しぶりにJAまつりに行ってみましたが、職員の皆さんの対応がとても良かったです。抽選会では残念ながら当選ならずでしたが、進行された方のハキハキした口調がとても良かったですし、楽しかったです！（70代女性）

★各地域の皆さんのいきいきした様子が知れて楽しいです。（30代女性）

★物価高や燃料高騰などありましたが、明るい広報で気分が優れました。（30代男性）

★表紙のお子さん方の笑顔に癒されました。中身も写真がたくさんあって、一つ一つの記事をじっくり読ませていただきました。毎月楽しみにしています。（40代女性）

今後も皆様の声を載せていきたいと思います。多数の応募お待ちしております！

今月の表紙

新庄市昭和

メッセージ
「パパとママより」
花のようにすくすく育ってね！

お父さん　髙橋　秀樹 さん
お母さん　　舞 さん
お子様　菜月（なつき）ちゃん〔5歳〕
　　葉月（はづき）ちゃん〔3歳〕